

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-318769

(43)Date of publication of application : 31.10.2002

(51)Int.Cl.

G06F 13/00
H04M 11/00

(21)Application number : 2001-121359

(71)Applicant : MURATA MACH LTD

(22)Date of filing : 19.04.2001

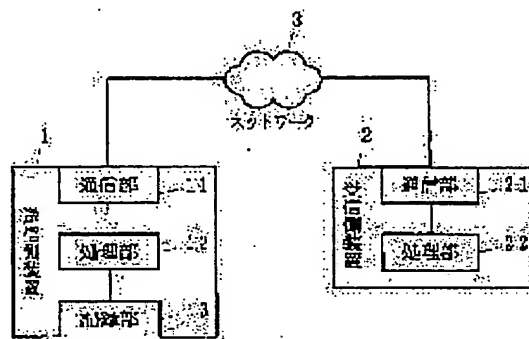
(72)Inventor : TANIMOTO YOSHIFUMI

(54) SYSTEM AND DEVICE FOR COMMUNICATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a communication system which can efficiently perform processing when electronic mail for delivery confirmation is received and a communication device which is used by the communication system.

SOLUTION: When electronic mail with a delivery confirmation request by MDN is sent from a transmission-side device 1 to a reception-side device 2, the reception-side device 2 receives the electronic mail and sends electronic mail for delivery confirmation back. At this time, the reception-side device 2 puts in a message for delivery confirmation in a specific item of the header part of the electronic mail for delivery confirmation. The transmission-side device 1 having received the electronic mail for delivery confirmation extracts the message from the specific item and records and output it from, for example, a recording part 13. Consequently, the delivery result can efficiently be presented to the user without analyzing the body part of the electronic mail for delivery confirmation. The delivery confirmation is presented as a simple message, the user can understand the result at a glance.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 20.08.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 28.09.2005

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-318769

(P2002-318769A)

(43) 公開日 平成14年10月31日 (2002. 10. 31)

(51) IntCl. ⁷	識別記号	F I	テームト [*] (参考)
G 0 6 F 13/00	6 1 0	G 0 6 F 13/00	6 1 0 B 5 K 1 0 1
H 0 4 M 11/00	3 0 2	H 0 4 M 11/00	3 0 2

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2001-121359(P2001-121359)

(22) 出願日 平成13年4月19日 (2001. 4. 19)

(71) 出願人 000006297

村田機械株式会社

京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地

(72) 発明者 谷本 好史

京都市伏見区竹田向代町136番地 村田機

械株式会社本社工場内

(74) 代理人 100101948

弁理士 柳澤 正夫

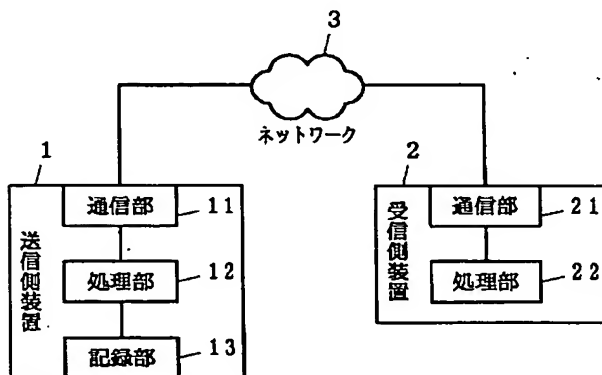
Fターム(参考) 5K101 KK02 LL01 NN01 NN11 NN21

(54) 【発明の名称】 通信システム及び通信装置

(57) 【要約】

【課題】 送達確認の電子メールを受信した時の処理を効率よく行うことができる通信システムと、その通信システムで用いる通信装置を提供する。

【解決手段】 送信側装置1からMDNによる送達確認要求付き電子メールを受信側装置2に送信すると、受信側装置2でこの電子メールを受け取り、送達確認の電子メールを返送する。このとき受信側装置2では、送達確認の電子メールのヘッダ部の特定の項目に送達確認のメッセージを含めておく。送達確認の電子メールを受け取った送信側装置1では、ヘッダ部の特定項目からメッセージを抽出し、例えば記録部13から記録出力する。これによって送達確認の電子メールの本体部を解析する等の処理を行わずに効率的に送達結果をユーザに提示できる。またユーザは単純なメッセージとして送達確認が提示されるので、一見して結果を理解することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 送信側装置と受信側装置との間で電子メールを転送する通信システムにおいて、前記受信側装置は、前記送信側装置から送達確認要求付き電子メールを受信すると所定の位置に所定のメッセージを含めて送達確認の電子メールを送信し、前記送信側装置は、送達確認の電子メールを受信すると前記所定の位置から前記メッセージを抽出することを特徴とする通信システム。

【請求項2】 受信側装置に対して電子メールを転送する通信装置において、ネットワークを通じて通信を行う通信手段と、該通信手段を介して送達確認要求付き電子メールを送信するとともに送信した電子メールについての送達確認の電子メールを前記通信手段を介して前記受信側装置から受け取ったとき該送達確認の電子メールの所定の位置からメッセージを抽出する処理手段を有することを特徴とする通信装置。

【請求項3】 さらに情報の記録を行う記録手段を有し、前記処理手段は、複数の前記送達確認の電子メールにおける所定の位置から抽出したメッセージをまとめて前記記録手段に記録させることを特徴とする請求項2に記載の通信装置。

【請求項4】 送信側装置から送られてくる電子メールを受信する通信装置において、ネットワークを通じて通信を行う通信手段と、該通信手段を介して前記送信側装置から送達確認要求付き電子メールを受信すると所定の位置に所定のメッセージを含めて送達確認の電子メールを前記通信手段に送信させる処理手段を有することを特徴とする通信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、送信側装置と受信側装置との間で電子メールを転送する通信システム及びその通信システムで用いられる通信装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】インターネット等のネットワークを利用して電子メールを転送する通信システムにおいては、その電子メールが相手先へ届いたか否かを確認するため、DSN（デリバリ・ステータス・ノーティフィケーション）あるいはMDN（メッセージ・ディスポジション・ノーティフィケーション）等によって、送信側装置からの電子メールの送信時に送達確認を要求することができる。このうちMDNでは、電子メールの宛先である受信側装置が電子メールを受信すると、送達確認要求時に指示された送り先に対して、受信した電子メールに対する送達確認の電子メールを送信する。

【0003】図5は、送達確認の電子メールの一例の説明図である。電子メールは一般にヘッダ部と本体部から構成される。送達確認の電子メールでは、ヘッダ部の件名（Subject）欄に“Disposition

Notification”と記載されている。また、本体部は図中の①～③で示す3つの部分から構成される。①の部分は、送達時の処理結果を人間が見て分かる文章で記述する部分である。②の部分は、送達時の処理結果が所定のフォーマットで記述される部分である。③の部分には、受け取った電子メールのヘッダ部あるいはヘッダ部及び本体部が挿入される。

【0004】このような送達確認の電子メールを受信した装置（例えば送信側装置）では、送達確認の電子メールのヘッダ部から、受け取った電子メールが送達確認の電子メールであることを認識し、さらに本体部から送達時の処理結果をユーザに提示する処理を行っている。例えば送達確認の電子メールをそのままユーザに提示することもできるが、ユーザにとって不要な情報が多い。そのため、一見して送達されたか否かを知ることができない。また、例えば用紙に記録出力すると、送達されたか否かを知るためだけに数枚の用紙を無駄にするといったこともある。

【0005】上述のように図5に示した例の①の部分には送達の結果が見て分かるように記述されているはずであるので、この部分を抽出してユーザに提示すれば、ユーザは送達の結果が分かるはずである。しかし、この部分の記述はそれぞれの受信側装置において異なる場合が多い。そのため、①の部分を抽出したとしても、一見して送達されたか否かを知ることができない場合もある。さらに、例えば日本語によって記述されている送達確認の電子メールが英字しか処理できない装置に返送された場合には、人間が見てもわからない。

【0006】図5に示した例の②の部分参照することによって機械的な処理により送達結果を取得し、ユーザに対して提示することも可能である。しかし、①の部分を取得するにしても、②の部分を取得するにしても、そのためには本体部の最初から調べてゆかなければならず、送達確認の電子メールに対して効率的な処理を行うことができなかった。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上述した事情に鑑みてなされたもので、送達確認の電子メールを受信した時の処理を効率よく行うことができる通信システムと、その通信システムで用いる通信装置を提供することを目的とするものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、送信側装置と受信側装置との間で電子メールを転送する通信システムにおいて、前記受信側装置は、前記送信側装置から送達確認要求付き電子メールを受信すると所定の位置に所定のメッセージを含めて送達確認の電子メールを送信し、前記送信側装置は、送達確認の電子メールを受信すると前記所定の位置から前記メッセージを抽出することを特徴とするものである。

【0009】また本発明は、受信側装置に対して電子メールを転送する通信装置において、ネットワークを通じて通信を行う通信手段と、該通信手段を介して送達確認要求付き電子メールを送信するとともに送信した電子メールについての送達確認の電子メールを前記通信手段を介して前記受信側装置から受け取ったとき該送達確認の電子メールの所定の位置からメッセージを抽出する処理手段を有することを特徴とするものである。この通信装置において、さらに情報の記録を行う記録手段を有し、前記処理手段は、複数の前記送達確認の電子メールにおける所定の位置から抽出したメッセージをまとめて前記記録手段に記録させるように構成することができる。

【0010】さらに本発明は、送信側装置から送られてくる電子メールを受信する通信装置において、ネットワークを通じて通信を行う通信手段と、該通信手段を介して前記送信側装置から送達確認要求付き電子メールを受信すると所定の位置に所定のメッセージを含めて送達確認の電子メールを前記通信手段に送信させる処理手段を有することを特徴とするものである。

【0011】このように本発明では、送達確認の電子メールの所定の位置に所定のメッセージを含めて返信し、それを受け取った側では、所定の位置からメッセージを抽出する。このように、メッセージを所定の位置に含むことによって、例えば送達の成否を所定のメッセージとしておけば、所定の位置を参照するだけで送達の成否を知ることが可能になる。従って、送達確認の電子メールを受け取った装置では、本体部を解析するなどの処理を行わなくても、所定位置を参照するだけでユーザに対して送達の成否を知らせることが可能になり、効率的に送達確認の電子メールに対する処理を行うことができる。また、ユーザも一見しただけで、送った電子メールが送達されたか否かを知ることができるようになる。それとともに、不要な情報が多い送達確認の電子メールを参照する必要がなくなり、またそのような不要な情報を記録出力せずに、送達の成否など必要な情報のみを出力させることができる。また、例えば上述のように複数の送達確認の電子メールから抽出したメッセージをまとめることによって、記録紙を節約することも可能である。

【0012】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の通信システムの実施の一形態を示す構成図である。図中、1は送信側装置、2は受信側装置、3はネットワーク、11、21は通信部、12、22は処理部、13は記録部である。送信側装置1及び受信側装置2は、ともにネットワーク3に接続されたネットワーク機器であり、ネットワーク3を介して通信可能に構成されている。ネットワーク3は、例えばインターネットやLANなどで構成される。この例では説明の都合上、電子メールの送信元となるネットワーク機器を送信側装置1とし、その電子メールの受信先（宛先）となるネットワーク機器を受信側装置2

として示している。しかし、特定の装置が常に送信側装置1が送信元、受信側装置2が受信先となる必要はない。

【0013】送信側装置1は、通信部11、処理部12、記録部13等を含んで構成されている。通信部11はネットワーク3を介して他のネットワーク装置との間で通信を行う。また記録部13は、処理部12から送られてくる情報を例えば用紙上に記録する。記録方法は任意である。

【0014】処理部12は、送信側装置1における各種の処理を行うものである。特に、通信部11を介して、ネットワーク3に接続されている他のネットワーク装置との間で電子メールの送受信を行う。電子メールの送信を行う際には、MDNによる送達確認要求を付して送信することができる。また、送達確認要求付きの電子メールを送信後、その電子メールの受信先のネットワーク装置（ここでは受信側装置2）から返送されてくる送達確認の電子メールを受け取る。そして、受け取った送達確認の電子メール中の所定の位置からメッセージを抽出し、ユーザに提示する。このメッセージには、後述するように受信側装置2において送達確認に関する情報が含まれているため、このメッセージを抽出することによって、ユーザが必要とする送達確認に関する情報を取得することができる。このように送達確認の電子メールから送達に関する情報を抽出する際に、電子メール全体を解析することなく、所定の位置のみを参照するので、効率よく送達確認の電子メールに対する処理を行うことができる。

【0015】メッセージのユーザへの提示の際には、例えば記録部13により記録出力することができる。あるいは、図示しない表示部に表示させたり、外部へ転送してもよい。なお、メッセージの提示の際には、例えば複数の送達確認の電子メールから抽出したメッセージをまとめて提示することができる。例えば記録部13で記録出力する場合には、1枚の用紙に複数件のメッセージを記録出力することができ、用紙を節約することができる。

【0016】受信側装置2も送信側装置1と同様、通信部21、処理部22等を含んで構成されている。通信部21はネットワーク3を介して他のネットワーク装置との間で通信を行う。

【0017】処理部22は、受信側装置2における各種の処理を行うものである。特に、通信部21を介して、ネットワーク3に接続されている他のネットワーク装置との間で電子メールの送受信を行う。他のネットワーク装置（ここでは送信側装置1）からMDNによる送達確認要求付きの電子メールを受信すると、指定された宛先に送達確認の電子メールを返送する。この時、送達確認の電子メールにおける所定の位置、例えばヘッダ部の所定の項目や本体部の第1行目などに、送達結果を示す所

定のメッセージを含めて送信する。

【0018】図2は、本発明の通信システムにおいて受信側装置2から送信側装置1へ返信される送達確認の電子メールの一例の説明図である。この例では送信側装置1のメールアドレスが“ME@tmA.NET”、受信側装置2のメールアドレスが“YOU@tmB.NET”であるとき、受信側装置2から送信側装置1への送達確認の電子メールを示している。そのため、1行目のFrom欄には受信側装置2のメールアドレスが、また3行目のTo欄には送信側装置1のメールアドレスが設
10 定されている。2行目は送信日時を示している。

【0019】4行目に示されているSubject（件名）欄には、通常のMDNでは図5に示したように、“Disposition Notification”と記述されるが、この例では図2に示すように“RECEIVED”と記述し、送達完了したことを示す所定のメッセージを記述している。もちろん、このメッセージの記述はこの例に限られるものではなく任意であるが、ユーザが一見して送達の成否が分かる記述であることが望ましい。

【0020】なお、そのほかのヘッダ部及び本体部の記述については、図5に示した従来の送達確認の電子メールと同様である。

【0021】この例では、ヘッダ部のSubject（件名）欄を用いて所定のメッセージを記述したが、これに限らず、メッセージを記述可能であれば、任意の欄をメッセージの記述欄として決めて利用することが可能である。例えば例で示したような短いメッセージであればFrom欄のメールアドレスの後に挿入することも可能である。また、例えば本体部の先頭位置にメッセージを記述しておいてもよい。どの部分にメッセージを記述するかは、予め送信側装置1と受信側装置2との間で決めておけばよい。あるいは、送達確認要求の際に指定するように構成してもよい。ただし、本体部の解析を行わずにメッセージを抽出可能な位置である必要がある。

【0022】以下、図2に示した送達確認の電子メールを受信側装置2から送信側装置1へ送信するものとして、動作を簡単に説明する。なお、送達確認のメッセージは、ヘッダ部のSubject欄に記述するものとする。

【0023】受信側装置2では、MDNによる送達確認要求付きの電子メールを、通信部21を介して受け取ると、処理部22において図2に示すようにヘッダ部のSubject欄に所定のメッセージを含めて送達確認の電子メールを作成し、送達確認要求時に指示された返送先に対して通信部21を介して送信する。

【0024】送信側装置1では、送達確認要求付き電子メールを受信側装置2に送り、受信側装置2から図2に示すような送達確認の電子メールを、通信部11を介して受信すると、その電子メールのヘッダ部を処理部12

で解析する。図2に示した例では、ヘッダ部にはFrom欄、Date欄、To欄、Subject欄、MIME-Version欄、Content-Type欄の6つの欄が設けられている。このうち、From欄によって、この電子メールがメールアドレス“YOU@tmB.NET”（この例では受信側装置2）からのものであることが分かる。またContent-Type欄のフィールドに“report-type=disposition-notification”と記述されており、これによって、受け取った電子メールが送達確認のためのものであることが分かる。

【0025】送達確認の電子メールであることが分かると、送信側装置1では、ヘッダ部のSubject欄から、受信側装置2が含まれたメッセージ“RECEIVED”を抽出する。これによって、ユーザに対して提示する送達確認の情報を得ることができる。このようにヘッダ部を参照するのみでユーザに提示する情報を取得できるので、効率よく処理を行うことができる。従来のようにユーザに提示する部分を取得するために電子メールの
20 本体部を解析するといった処理は必要ない。

【0026】抽出されたメッセージは、例えばFrom欄及びDate欄の情報などとともに記録部13から出力する。あるいは、図示しない表示部が設けられていれば、表示部に表示してもよい。あるいは、再び通信部11から電子メールにより他のネットワーク装置などに転送したり、イメージ化してファクシミリ転送したり、あるいは図示しない他のインタフェースを介して他の機器に対して転送してもよい。

【0027】図3は、送信側装置1の記録部13で記録出力された送達結果の一例の説明図である。図3（A）に示す例では、図2に示す送達確認の電子メールにおけるヘッダ部のうち、From欄及びDate欄の情報と、Subject欄から抽出したメッセージ“RECEIVED”を、それぞれ送信先、送達日時、送達結果として記録出力した例を示している。この例を見ても分かるように、一見して送達結果を知ることができる。

【0028】例えば送達確認の電子メールをすべて記録すると、図2に示した例の部分だけでも1ページを要しており、送達確認のためだけで複数枚の用紙を必要とする場合もある。また、例えば本体部の図5で説明した①の部分
40 の部分を抽出して記録出力したとしても、一見して分かる内容でない場合もある。これに対して、図3（A）に示すように本発明では一見して送達結果を知ることが可能である。しかも、このような記録出力のための処理量は非常に少なく、効率よくユーザに対して送達結果を提示することができる。

【0029】このような送達結果を記録出力する際には、複数の送達確認の電子メールにおける送達結果をまとめて記録出力することができる。この例を図3（B）
50 に示している。このように複数の送達結果をまとめて記

録出力することによって、送達確認のために使用する用紙の枚数を削減することができる。

【0030】このような送達結果をまとめて記録出力する機能を利用し、例えば電子メールの送信時にCC欄やBCC欄を用いるなど、複数の宛先を指定し、複数の受信先に対して同報送信を行った場合、各受信先から返送されてくる送達確認の電子メールから取得した送達結果をまとめて記録することも可能である。これによって、送信した電子メールに対する複数の受信先についての送達結果を一見して知ることが可能になる。

【0031】なお、図3に示した例において記録出力した項目は一例であって、その他、各種の情報を記録出力することもできる。また、記録出力の際のフォーマットなども任意である。

【0032】上述の説明では、送信側装置1において受け取る送達確認の電子メールには、受信側装置2において所定の位置にメッセージを含めているものとして説明した。しかし、そのような機能を有しない受信先に対して電子メールを送信した場合には、例えば図5に示すような従来の送達確認の電子メールが返送されてくる。従って、このような従来の送達確認の電子メールが返送されてきた場合、所定の位置、例えばヘッダ部のSubject欄に記述されているメッセージを抽出しても送達結果を知ることができない。そのための対策として、所定の位置、例えばヘッダ部のSubject欄を参照して所定のメッセージが含まれていなければ、あるいは、通常の送達確認の際のメッセージである場合には、従来と同様に送達確認の電子メールの本体部を解析するように構成すればよい。

【0033】あるいは、本発明の機能を有しているあるいは有していない装置が分かっているならば、そのメールアドレスを登録しておき、受け取った送達確認の電子メールのFrom欄を参照してそのメールアドレスが登録されているか否かによって、所定の位置からメッセージを抽出するか、本体部を解析するかを判断してもよい。

【0034】図4は、本発明の通信システムにおいてDSNによって返信される送達確認の電子メールの一例の説明図である。上述の例では、MDNにより送達確認を行う例を示した。しかしこれに限らず、例えばDSNによって送達確認を行う場合についても、同様にして所定の位置にメッセージを含めて転送するように構成することができる。なお、DSNの場合には、メールサーバが同じドメイン内のクライアントに対する電子メールを受信した時に送達確認の電子メールを返信することになる。もちろん、メールサーバ2が電子メールの最終の宛先であってもよい。

【0035】図4では、図2に示した例と同様に、Subject欄にメッセージを記述する例を示している。通常、この欄には例えば“Return Receipt”などといったように送達確認のための電子メールで

ある旨を示す内容が一律的に記されている。しかし、一般的にはこの内容から送達の成否を判断することはできない。本発明では、例えば図4に示すようにSubject欄に“successfully delivered to mailbox…”といったような一見して送達の成否が分かるような内容のメッセージを記述する。これによって、送達確認の電子メールを受け取った例えば送信側装置1では、Subject欄のメッセージを抽出してユーザに提示すれば、ユーザは送達の成否を一見して知ることができる。この場合、MDNの場合と同様に電子メールの本体部を解析しなくてもよいので、効率的に送達確認の電子メールに対する処理を行うことができる。なお、メッセージのユーザへの提示は、複数件まとめて提示することができる。

【0036】もちろんDSNの場合にも、Subject欄以外の所定の位置にメッセージを含めておくことができる。また、メッセージの内容も任意であるが、ユーザが一見して理解できる内容であることが望ましい。またこの例のように、宛先のアドレスを含めておくなど、種々の情報を含めておくことも可能であり、上述のMDNの場合についても同様である。

【0037】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によれば、送達確認要求付き電子メールの受信側で所定の位置に所定のメッセージを含めて送達確認の電子メールを返送し、もとの電子メールの送信側では送達確認の電子メールの所定の位置からメッセージを抽出してユーザに提示する。これによって、送達確認の電子メールを受け取った際に本体部の解析処理などを行わずに所定の位置を参照するだけで、ユーザに対して送達結果を提示することができ、効率的に処理を行うことができる。また、ユーザは一見しただけで送達確認であることを認識することができるという効果がある。また、複数の送達確認をまとめて記録出力することにより、記録紙を節約することができるという効果もある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の通信システムの実施の一形態を示す構成図である。

【図2】本発明の通信システムにおいて受信側装置2から送信側装置1へ返信される送達確認の電子メールの一例の説明図である。

【図3】送信側装置1の記録部13で記録出力された送達結果の一例の説明図である。

【図4】本発明の通信システムにおいてDSNによって返信される送達確認の電子メールの一例の説明図である。

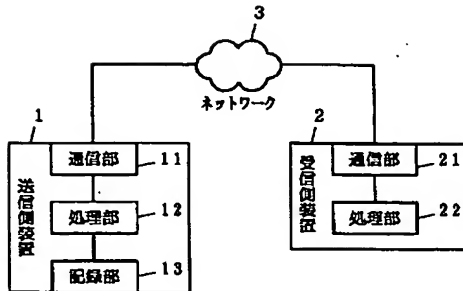
【図5】従来の送達確認の電子メールの一例の説明図である。

【符号の説明】

1…送信側装置、2…受信側装置、3…ネットワーク、

11, 21...通信部、12, 22...処理部、13...記録* *部。

【図1】



【図3】

(A)

送信先: YOU@tmB.NET
 送達日時: Wed, 14 Mar 2001 16:09:27 +0900
 送達結果: RECEIVED

(B)

送信先: YOU@tmB.NET
 送達日時: Wed, 14 Mar 2001 16:09:27 +0900
 送達結果: RECEIVED

送信先: Mr.X@tmC.NET
 送達日時: Wed, 14 Mar 2001 16:11:46 +0900
 送達結果: RECEIVED

送信先: Mr.Z@tmD.NET
 送達日時: Wed, 14 Mar 2001 16:09:27 +0900
 送達結果: RECEIVED

⋮

【図2】

```

From: YOU@tmB.NET
Date: Wed, 14 Mar 2001 16:09:27 +0900
To: ME@tmA.NET
Subject: [RECEIVED]
MIME-Version: 1.0
Content-Type: multipart/report;
  report-type=disposition-notification;
  boundary="=_029036216740046149670290352328_"

--=_029036216740046149670290352328_--
Content-Type: text/plain; charset="us-ascii"
Content-Transfer-Encoding: 7bit
① The message you sent on Wed, 14 Mar 2001 16:16:30 +0900
was printed. This is no guarantee that the message has
been read or understood.

--=_029036216740046149670290352328_--
Content-Type: message/disposition-notification
Content-Transfer-Encoding: 7bit
Content-Disposition: inline
② Reporting-UA: YOU.tn.co.jp
Final-Recipient: rfc822; YOU@tmB.NET
Original-Message-ID: <3AAF1ACE.E61315FE@tmA.NET>
Disposition: automatic-action/MDN-sent-automatically;
  dispatched

--=_029036216740046149670290352328_--
Content-Type: text/rfc822-headers
Content-Transfer-Encoding: 7bit
Content-Disposition: inline
Return-Path: <ME@tmA.NET>
Received: from tm.co.jp
  by YOU.tn.co.jp with SMTP Id QAA15787;
  Wed, 14 Mar 2001 16:09:02 GMT
③ Message-ID: <3AAF1ACE.E61315FE@tmA.NET>
Disposition-Notification-to: <ME@tmA.NET>
Date: Wed, 14 Mar 2001 15:16:30 +0900
From: ME@tmA.NET
MIME-Version: 1.0
To: YOU@tmB.NET
Subject: HELLO
Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp
Content-Transfer-Encoding: 7bit

--=_029036216740046149670290352328_--
  
```

【図4】

ヘッダ部

Date: Wed, 14 Mar 2001 16:09:02 GMT
 From: Mail DELIVERY Subsystem<MAILER-DARWIN@rh.tnB.NET>
 Message-Id: <200103141609.QAA15788@rh.tnB.NET>
 To: <ME@tnA.NET>
 MIME-Version: 1.0
 Content-Type: multipart/report; report-type=delivery-status;
 boundary="QAA15788.984586142"
 Subject: successfully delivered to mailbox<YOU@tnB.NET>
 Auto-Submitted: auto-generated(return-receipt)

①

--QAA15788.984586142
 The original message was received at Wed, 14 Mar 2001
 16:09:02 GMT from [192.168.1.170]
 The following addresses had successful delivery notification
 <YOU@tnB.NET>(successfully delivered to mailbox)
 Transcript of session follows
 <YOU@tnB.NET>...successfully delivered

②

--QAA15788.984586142
 Content-Type: message/disposition-notification
 Original-Envelope-Id: NS4112696JT
 Reporting-MTA: DNS; [192.168.1.170]
 Arrival-Date: Wed, 14 Mar 2001 16:09:02 GMT
 Original-Recipient: rfc822; YOU@tnB.NET
 Final-Recipient: rfc822; <YOU@tnB.NET>
 Action: delivered (to mailbox)
 Status: 2.1.5
 Last-Attempt-Date: Wed, 14 Mar 2001 16:09:02 GMT

③

--QAA15788.984586142
 Content-Type: text/rfc822-headers
 Return-Path: <ME@tnA.NET>
 Received: from tnB.NET([192.168.1.170])
 by rh.tnB.NET with SMTP id QAA15787;
 Wed, 14 Mar 2001 16:09:02 GMT
 Message-ID: <3AAFIACE.E61315FE@tnA.NET>
 Disposition-Notification-to: <ME@tnA.NET>
 Date: Wed, 14 Mar 2001 15:16:30 +0900
 From: <ME@tnA.NET>
 MIME-Version: 1.0
 To: YOU@tnB.NET
 Subject: DSN&MDN
 Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp
 Content-Transfer-Encoding: 7bit
 --QAA15788.984586142

本体部

【図5】

ヘッダ部

From: YOU@tnB.NET
 Date: Wed, 14 Mar 2001 16:09:27 +0900
 To: ME@tnA.NET
 Subject: Disposition Notification
 MIME-Version: 1.0
 Content-Type: multipart/report;
 report-type=disposition-notification;
 boundary="=_029036216740046149670290352328_="

①

--=_029036216740046149670290352328_=
 Content-Type: text/plain; charset="us-ascii"
 Content-Transfer-Encoding: 7bit
 The message you sent on Wed, 14 Mar 2001 16:16:30 +0900
 was printed. This is no guarantee that the message has
 been read or understood.

②

--=_029036216740046149670290352328_=
 Content-Type: message/disposition-notification
 Content-Transfer-Encoding: 7bit
 Content-Disposition: inline
 Reporting-UA: YOU.tn.co.jp
 Final-Recipient: rfc822; YOU@tnB.NET
 Original-Message-ID: <3AAFIACE.E61315FE@tnA.NET>
 Disposition: automatic-action/MDN-sent-automatically;
 dispatched

③

--=_029036216740046149670290352328_=
 Content-Type: text/rfc822-headers
 Content-Transfer-Encoding: 7bit
 Content-Disposition: inline
 Return-Path: <ME@tnA.NET>
 Received: from tn.co.jp
 by YOU.tn.co.jp with SMTP id QAA15787;
 Wed, 14 Mar 2001 16:09:02 GMT
 Message-ID: <3AAFIACE.E61315FE@tnA.NET>
 Disposition-Notification-to: <ME@tnA.NET>
 Date: Wed, 14 Mar 2001 15:16:30 +0900
 From: ME@tnA.NET
 MIME-Version: 1.0
 To: YOU@tnB.NET
 Subject: HELLO
 Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp
 Content-Transfer-Encoding: 7bit
 --=_029036216740046149670290352328_==

本体部